

(様式2)

大阪市立豊新小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなか

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習理解度到達診断「しんだん」における正答率6割以上の児童の割合を、全学年で前年度割合より増加させる。(カリキュラム改革関連) ○言語活動の充実を図る授業づくりに向けた基礎研究を行う。(カリキュラム改革関連) ○英語教育の強化を図るため、4年生での指導を実施する。(グローバル化改革関連) ○ＩＣＴを効果的に活用した指導法の研究を行う。(グローバル化改革関連) ○全教員が一人1回以上の授業研究を行い、内、3回は全体研修会を実施する。(マネジメント改革関連) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 個に応じた学習指導】</p> <p>個別指導やグループ指導、繰り返し指導、習熟度別指導を計画し、基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。</p>	
<p>指標 学習理解度到達診断「しんだん」における正答率6割以上の児童の割合を、全学年で前年度割合より増加させる。</p>	
<p>取組内容②【区分 言語活動の充実】</p> <p>2年継続した研究の1年目として、言語活動の充実を図る授業づくりに向けた基礎研究を行う。</p>	
<p>指標 年度末にまとめる1年間の研究の検証</p>	
<p>取組内容③【区分 外国語活動】</p> <p>英語教育の強化を図るため、4～6年生において年間指導計画に位置付ける。</p>	
<p>指標 年間指導計画に基づいて外国語活動の授業を展開する。</p>	
<p>取組内容④【区分 ＩＣＴを活用した教育の推進】</p> <p>平成27年度に全市展開の大坂市スタンダードモデルに向けて、ＩＣＴの効果的な活用方法について指導方法の研究を行う。</p>	
<p>指標 実技研修会やモデル校の公開授業に積極的に参加し、校内での伝達研修会を実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【区分 授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。</p>	
<p>指標 全教員が一人1回以上の研究授業を行い、内、3回は全体研修会を行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。（カリキュラム改革関連） ○学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を70%以上にする。（カリキュラム改革関連） ○心豊かな子どもの育成のため、音楽鑑賞行事を実施する。（カリキュラム改革関連） ○避難訓練（防災教育）を毎学期に実施し、また高学年においては安全（防犯）教育も実施する。（グローバル化改革関連） ○問題行動（生活指導）対応、いじめに関する研修を実施する。（マネジメント改革関連） ○ゲストティーチャーを招いての職業講話を高学年に実施する。（学校サポート改革関連） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>道徳の授業の年間標準授業時間を確保するとともに、人権に関する指導内容の充実を図る。</p>	
<p>指標 学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【区分 規範意識の育成】</p> <p>社会や集団生活でのルールを守ることを日常的に全教職員で指導する。</p>	
<p>指標 学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【区分 道徳教育の推進】</p> <p>道徳の時間を年間指導計画通りに実施し、心豊かな子どもの育成を図る。</p>	
<p>指標 年間計画に従い、音楽鑑賞行事を実施する。</p>	
<p>取組内容④【区分 防災教育の推進】</p> <p>災害についての正しい知識と的確な判断力を身につけ、非常時には正しい判断力を持って適切に行動できるように指導する。</p>	
<p>指標 各種の想定に対応した避難訓練（防災訓練）を毎学期に実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【区分 防犯教育の推進】</p> <p>日常生活における犯罪被害の現状及び防止方法について理解を深め、自ら危険を回避し安全に行動するための安全教育を実施する。（グローバル化改革関連）</p>	
<p>指標 5・6年生において実施する。</p>	

<p>取組内容⑥【区分 問題行動への対応】 日頃より問題行動及びいじめを許さない集団の育成に取り組むとともに、事案発生時には、関係諸機関とも連携しながら早期解決に努める。 (マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標 問題行動（生活指導）対応、いじめに関する研修を実施する。</p>	
<p>取組内容⑦【区分 キャリア教育の推進】 児童の発達段階に合わせ、系統立てたキャリア教育を実施する。 (学校サポート改革関連)</p>	
<p>指標 ゲストティーチャーを招いての職業講話を高学年に実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全国平均を大きく下回っている「20m シャトルラン」、「立ち幅跳び」及び「反復横跳び」の結果を昨年度平均より上回る。(カリキュラム改革関連) ○学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を 60%以上にする。(カリキュラム改革関連) ○学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を 85%以上にする。(カリキュラム改革関連) ○学校アンケートにおける「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を 75%以上にする。(カリキュラム改革関連) ○毎月 1 回安全点検日を設け、修理・補修の必要な個所の実態を把握し、早期に改善を行う。(マネジメント改革関連) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 体力向上への支援】</p> <p>体育の授業において、敏捷性や持久力、跳躍力のアップを目指す取組をする。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「20m シャトルラン」、「立ち幅跳び」及び「反復横跳び」の結果を昨年度平均より上回る。</p>	
<p>取組内容②【区分 体育科授業の充実】</p> <p>運動やスポーツに興味・関心が高まり、楽しみながら取り組めるような授業づくりを工夫する。</p>	
<p>指標 学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を 60%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【区分 健康な生活習慣の確立】</p> <p>保健指導や手洗い・うがい強調週間等を通して、児童が手洗いの習慣を身につけられるよう指導する。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>また、手洗い・うがい強調週間の個人記録カードの結果より、手洗い・うがいできた児童の割合を 80%以上にする。</p>	

<p>取組内容④【区分 食育】</p> <p>給食週間や栄養指導を通して、食への関心を高める指導を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 学校アンケートにおける「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。</p> <p>また、給食日誌における残食率の平均を10%以下にする。</p>	
<p>取組内容⑤【区分 教育環境の整備】</p> <p>安全な学習環境の整備に向けて日頃より全教職員で取り組む。 (マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標 毎月1回安全点検日を設け、修理・補修の必要な個所の実態を把握し、早期に改善を行う。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

年度目標	達成状況
<p>【視点 特別支援教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある全ての子どもの「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、個別の指導計画に基づき指導する。(カリキュラム改革関連) ○障がいのある子と通常学級の子どもの交流及び共同学習を推進する。(カリキュラム改革関連) 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 特別支援教育の充実】</p> <p>「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、一人一人のニーズに応じて見直しを学期ごとに行う。</p>	
<p>指標 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づいた指導の実施</p>	
<p>取組内容②【区分 特別支援教育の充実】</p> <p>支援を必要とする子どもについて全教職員で共通理解を図る。</p>	
<p>指標 特別支援教育に関する研修会を学期に1回実施する。</p>	
<p>取組内容③【区分 特別支援教育の充実】</p> <p>教育活動全体を通じて、多様性を尊重する活動や実践を学期に1回行う。</p>	
<p>指標 学校アンケートにおける「自分には良いところがある」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を75%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	